



子どもの育みの支援に関する条例に

子どもを育む場として **企業** を掲げているのが

**「佐賀市子どもへのまなざし運動」**

の大きな**特徴**です

#### 子どもへのまなざし運動

佐賀市では、子どもが社会において保障されるべき様々な権利の尊重に努め、すべての大人が子どもの育成に関心を持ち、主体的にかかわる社会「子どもへのまなざし“100%”のまち」の実現を目指す「子どもへのまなざし運動」を推進します。

#### まなざし条例（佐賀市未来を託す子どもを育むための大人の役割に関する条例）

\*条例はコチラ▶



子どもへのまなざし運動では、子どもを育む4つの場「家庭」・「地域」・「企業等」・「学校等」における、大人の役割と責任を条例で定めています。企業等は、子どもの育成に対する社会的責任があり、将来の経済や社会を支える担い手の育成という観点からも重要な役割を担っています。

～できる**人**が できる**時**に できる**範囲**で～



# 各事業所の取り組み例

**田島株式会社** (水ヶ江)  
(リフォーム、住宅設備、不動産)  
従業員数:54名

## 地域に向けた取り組み

- ・子ども仕事参観デー・中学生職場見学の受け入れ・高校への出前講座
- ・子ども見守り隊への参加
- ・赤松まち協防災協定を締結(コンロ、ガス設備の提供、年数回の防災訓練を実施)
- ・自社制作のバルーン係留搭乗体験

## 働きやすさへの取り組み

- ・時短勤務可能な子の年齢幅の拡大
- ・学校行事参加休暇、妊活休暇の設置
- ・新卒採用選考は2か月かける理念共感型採用で、入社後の人材育成にも力を入れている
- ・職場体験参加者をパートとして採用
- ・正社員・パートともに、やりがいをもって働けるような取り組みを行っている

**株式会社ライフクリエイト**  
(すずな薬局 神野店) (神野)  
(調剤薬局)  
従業員数:4名



## 地域に向けた取り組み

- ・公民館や幼稚園で大人を対象に薬の知識や風邪予防などの講演会を実施
- ・子どもに対してきちんと治療できるよう、子どもがよるこんで来てくれるような取り組み(お絵かきボード、薬局内の季節の飾りつけ、ガチャガチャ、ドリンク販売など)
- ・車で待機できるようプザーでお知らせ
- ・子ども 110 番の家登録

## 働きやすさへの取り組み

- ・1人の女性職員の声から、不妊治療の特別休暇を設置(医師との計画にもよるが、通院に対して休暇日数の上限なし。また、5事業年度の期間において、最長1年間までの休業が可能)
- ・在宅勤務を希望する職員の声から、薬草から調合した漢方薬や健康茶のネット販売開始

**森永建設株式会社** (久保田)  
(土木建築工事業)  
従業員数:36名

## 地域に向けた取り組み

- ・中学生職場体験、大学生インターンシップの受け入れ、高校の会社紹介会への参加や出前講座の実施
- ・道路工事の際は、近隣校に事業説明を実施
- ・月1回の地域清掃活動(第4金曜日)
- ・毎月10日「交通安全の日」は、思齊小付近で交通旗を持って朝の見守り活動
- ・各取り組みは、ホームページやSNSでも周知

## 働きやすさへの取り組み

- ・本社員は残業がほとんどなく、現場社員も工夫して効率的な働き方を意識
- ・子の部活動の遠征、PTA活動、急な発熱でも休みやすい環境
- ・男性職員の育児休暇は連続取得ではなく、週に1回ずつほどで取得している

**第一生命保険株式会社**  
**佐賀支社**(水ヶ江)  
(金融・保険業)  
従業員数:350名(佐賀県全域 内4割佐賀支社)

## 地域に向けた取り組み

- ・中学生のインターンシップ受け入れ(3日間で企画体験等仕事内容にも触れる)
- ・ライフサイクルゲーム(金融教室)の実施(県内10カ所)
- ・城南中学校ランニング教室開催(さが桜マラソン協賛イベント 陸上部)

## 働きやすさへの取り組み

- ・月1回15時帰宅日「ブルースカイデー」
- ・毎週水曜17時帰宅日「ワークスマートデー」、内勤職はテレワークを推奨
- ・産休代替職員の正規採用
- ・男性の育休取得:1か月を1週間ずつ分割取得し、復帰後はレポートの提出で子育てへの理解を深める取り組み
- ・業務改善にも日々取り組んでいる

**有限会社田中庭樹園**(金立)  
(造園、土木工事業)  
従業員数:10名



## 地域に向けた取り組み

- ・毎年高志館高校から就業体験を受け入れ
- ・中学生職場体験の受け入れ(コケ玉づくり体験等)
- ・町内運動会で体育協会テントの提供、おみこしの運搬など
- ・青色パトロールで定期的に見守り活動
- ・エコアクション 21 認定(2018年)

## 働きやすさへの取り組み

- ・従業員にPTA活動等学校行事を優先するよう呼びかけ
- ・毎日ほとんどノー残業
- ・年に一度社内旅行で親睦を深めている
- ・コミュニケーションも取りやすい環境

**セキュテック株式会社**(大和)  
(防犯カメラシステム機器の開発、製造、販売等)  
従業員数:9名



## 地域に向けた取り組み

- ・子ども 110 番の家登録

## 働きやすさへの取り組み

- ・子育て応援宣言企業(R2~)
- ・みんなで協力して子育てをとの考え
- ・結婚していない方も、両親のための休暇を取りやすい
- ・気兼ねなく休暇を取りやすい環境
- ・気軽に社長等にも相談できる環境
- ・社長の意向で残業も基本無し
- ・年間休日 125日前後
- ・コロナ禍で出社できない期間も、従業員を守りたいとの考えから、テレワークの実施や給与面等でもサポート

**株式会社秀信土木建設**(金立)  
(土木工事業)  
従業員数:9名



## 地域に向けた取り組み

- ・現場に親しみを持ってもらえるよう、約30年前から『きりんの重機』を導入子どもたちが現場に見に来るほど人気
- ・会社に届く使い切れないカレンダーは、郵便局に寄付(裏紙をお絵かきで使用)
- ・「子どもたちが過ごしやすい環境が一番」と考え、自分たちの会社だからこそできることを、できることから取り組んでいる

## 働きやすさへの取り組み

- ・従業員は家族のように思い、子どもの行事など何かあれば声かけしている
- ・女性活躍推進宣言、出会い結婚応援企業、さが子育て応援宣言企業、がばい健康企業宣言に加入

**放課後等デイサービスぱすてる**  
(鍋島)  
従業員数:8名



## 地域に向けた取り組み

- ・地域に根ざした活動の一環として、発達障がいの子もたちと一緒にボランティアでゴミ拾い(火ばさみを使うことで手指の運動にも繋がっている)
- ・ゴミ拾いや花壇づくりの活動は地域の方との交流のきっかけになっており、子どもたちの社会参加や喜びにつながっている
- ・数年前、顔を赤くして「お茶ありますか」と小学生が助けを求めてきたことをきっかけに、下校中の子どもたちの様子を見て、必要時に「お茶があるか」の声かけを行っている
- ・子どもに限らず、高齢者の熱中症にも気を配りながら活動(今夏は2、3名座り込んでいる高齢者を発見。声かけし、脱水症状の恐れがある方は、交番へ通報した)

## 働きやすさへの取り組み

- ・休暇を取りやすい配慮をしている

**トモダガーデン**(富士)  
(造園、土木工事業)  
従業員数:5名



## 地域に向けた取り組み

- ・校外学習に協力
- ・子どもクラブの子たちに会社敷地内のピザ窯でのピザ焼き体験や、バーベキューを実施している
- ・いも畑の作り方等、親から子、孫とその友達の家族との親交を深めながら農業の知識を伝える取り組みを行っている
- ・学校から遠いため、子どもを見かけたら気にかけるよう意識している

## 働きやすさへの取り組み

- ・従業員は少ないが、地区行事や家族との時間を優先するよう伝えている

**有限会社宮城建設**(西与賀)  
(土木工、とび土木、浚渫工事業、路面清掃業務他等)  
従業員数:10名



## 地域に向けた取り組み

- ・学校からの要望があれば可能な範囲で職場見学等を受け入れる
- ・西与賀小学校の施設等修理
- ・子ども 110 番の家、子どもへのまなざし運動ののぼり旗を各現場でも掲示
- ・従業員の子もたちを対象に職場見学

## 働きやすさへの取り組み

- ・子ども・孫が生まれる際の特別休暇
- ・家庭優先で休みやすい環境(家族旅行、親などの介護休暇等)
- ・月2回は全員集まってミーティングを行い、情報交換等を実施
- ・年数回の懇親会を実施

**株式会社佐賀銀行**  
(銀行業)  
従業員数:1,160名

## 地域に向けた取り組み

- ・職場見学やまち探検等の受け入れ

## 働きやすさへの取り組み

- ・毎週水曜日「ノー残業デー」
- ・ノー残業週間「クイックウィーク」
- ・残業は減少してきており、定時退行、早帰りも定着してきている
- ・育休取得率【女性:100%、男性:96.5%(5日間)】
- ・産休・育休は当然取得するものと考え、女性の復帰も本人と対話しながら、短時間勤務や配属先、勤務地等を決定
- ・育児・看護休暇の拡大(孫の看護休暇:同居・別居問わず、孫1名につき5日、2名以上は10日で、1日または1時間単位で取得可)
- ・社会全体で子育てに関わっていくことが大切と考える

**佐賀市役所**  
(公務)  
職員数:1,513名



## 地域に向けた取り組み

- ・職員が「まなざし休暇」を取得し、バルーン係留等、子どもに係る行事に参加\*

## 働きやすさへの取り組み

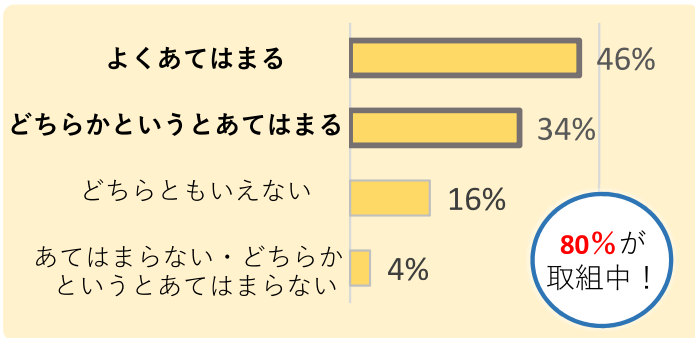
- ・毎週水曜日、金曜日「ノー残業デー」
- ・15分単位の時間休暇制度により、子どもの送迎等がしやすい
- ・男性の育児休暇取得率が90%を突破

\*令和7年度の取り組みとして、現在、市で実施している小学生バルーン係留体験搭乗に、地域の職員が休暇を取って子どもたちと触れ合っています!

# 企業の取り組み状況アンケートから

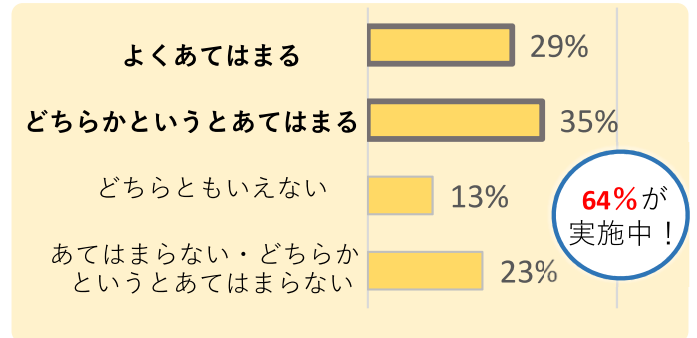
まなざし運動に参加登録の企業を対象として、子どもへのまなざし運動の取り組み状況について、アンケートを実施しました。回答へのご協力ありがとうございました。回答期間：R6.8.9～9.9 251事業所

## Q. 休みを取りやすい雰囲気づくりを進めている



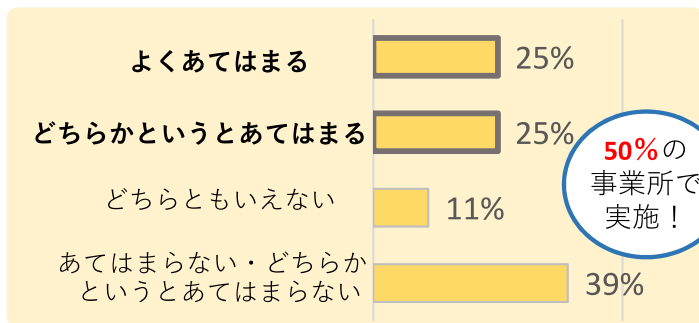
### 子どもの育みを支える取り組み

## Q. “子ども110番の家”や移動中の見守り活動を行っている



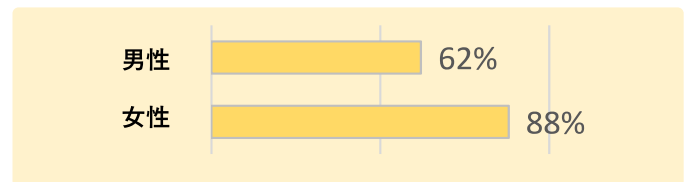
### 子どもを取り巻く環境への配慮

## Q. 子ども（特に中学・高校）の職場体験を受け入れている



### 子どもの自立を促す・働くことの意義を伝える

## Q. 育児休業・休暇の対象者が休暇・休業を取得した割合



【対象】R4.9.1～R5.8.31までの1年間に、本人または配偶者が出産した者のうち、R5.9.1～R6.8.31の1年間に育児休業または育児休暇を取得した者の割合

### 育児休業・育児休暇の取得状況

ほかにもこんな取り組みが行われています！

- ・週休三日制、時短勤務など、職員に応じた勤務体制をとっている
- ・登校時の見守り・挨拶運動の実施
- ・家族イベントや子どもの行事には、休みを取るように声かけ
- ・職場体験を毎年、可能な範囲で実施
- ・ボウリング大会、バーベキューなど、家族で参加できる行事を実施

## 子どもへのまなざし運動の参加事業所を大募集！

「休みが取りやすいような声かけ」や「見守り」など、日常の中での取り組みが、社会全体で安心して子育てができる環境づくりやすやかな子どもの育みにつながっています。企業だからこそできるまなざし運動に参加してみませんか？

「子どもへのまなざし運動」の参加企業登録はこちらから▶



企業の取り組みアンケート集計結果はこちらから▶

